

つて初めて其の意義がある。(田中)

徳川美術館開館 同美術館は侯爵徳川義親氏の寄附による財団法人尾張徳川黎明會の事業の一として、同家傳來の數多の什寶美術品等を永久に保存し且つ一般及び研究者の觀覽に供せんとする目的のもとに設立せられ、去る十一月十日開館式を舉げた。

同館は鐵骨鐵筋混凝土造、日本城砦建築を加味せる異色ある近世式建築で、平家建の陳列館、事務所及び二階建の倉庫より成り、外觀設備共に小美術館としての美と完とを期したものである。

開館に際して、繪畫、陶磁、漆器、能衣裝、武器刀劍、文房具等が陳列せられた。就中牧谿筆虎圖、所翁筆雲龍圖、源氏初音の卷蒔繪調度品等が注目を引いたが、概して見るに、他に尙幾多の名品を藏する同館の最初の展觀としては甚だ物足らぬ感を禁じ得なかつた。斯界に對する今後の貢獻に期待すると共に、此種施設乏しき我邦にこの好箇の美術館の開設せられて、又一つを加へたるを喜ぶたい。(梅津)

美術研究所時報

十一月三十日美術懇話會は菊池容齋遺作竝に關係資料を展觀し、結城素明氏の講話を行つた。

尙十二月二日美術研究所に於ては右展觀を研究者の爲公開した。

寄贈圖書

十三松堂觀摩錄 正木直彦編
永好留眞 渡邊晨畝編
陶器大辭典卷三 小野賢一郎編

美術研究所時報

正木直彦氏
渡邊晨畝氏
小野賢一郎氏

鐵瓶圖錄 香取秀眞編

バジル・ホル・チエンバレン先生追悼記念錄 外一冊

The Noyes Collection of Japanese Drawings etc.

Andrea di Michelangiolo e Antonio Mini. I Disegni di Raffaello da Montelupo.

B. Berenson

思想 一六一

史迹と美術 六〇

星岡 六二

中國營造學社彙報 五ノ四

帝國圖書館報 二八ノ六

建築研究 七ノ一一

博物館研究 八ノ一一

美術評論 四ノ八

Bulletin of the Museum of Fine Arts Boston, Vol. XXXIII, No. 199.
Informations Mensuelles, Aout-Septembre.

香取秀眞氏

國際文化振興會

Library of Congress

帝國工藝 九ノ一一

南畫鑑賞 四ノ一一

文學 三ノ一一

國立北平圖書館館刊 八ノ三・五・六

美育 一一ノ一一

浮世繪藝術 四ノ一一

國際建築 一一ノ一一